



## 高知市立小中学校4年経験者研修(教諭)「人権教育研修」

平成24年8月10日(金)実施  
人権・こども支援課

- (概要) ・ 人権教育の在り方についての理解を深めるとともに、教科や領域の授業における人権学習指導案作成の演習を行う。  
・ 本研修での成果をもとに9月以降授業を行う。

### 「人権教育についての基本事項」

- 同和教育の成果や手法を人権教育の取り組みに活かしていくこと
  - ・ 差別の現実から深く学ぶ
  - ・ 学力・進路保障の取り組み
  - ・ 学校・家庭・地域の連携 など
- 人権尊重の学校づくり
  - ・ 学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進
  - ・ 人権教育や教育活動の見直しの視点

### 〈留意点〉

- ・ 子どもや保護者の背景をきちんと捉え、その願いを受けとめること。
- ・ 差別の現実や実態から学び、学校の取り組みや教職員自らのありようを見つめ直すとともに、課題解決に向けて組織的に取り組むこと。

- ・ 教職員の人権感覚、人権意識
- ・ 子ども同士の間関係
- ・ 人権問題学習
- ・ 教職員と子どもとの人間関係 など

### 「教育活動全体を通じた人権教育の推進」

- 教育活動全体を通じて人権教育を推進していくための留意点
  - ① 人権教育の充実を目指した教育活動の改善・充実
  - ② 人権尊重の理念に立った生徒指導
  - ③ 人権尊重の視点に立った学級経営
- 人権教育で付けたい3つの力
  - ① 知識的側面
  - ② 価値的・態度的側面
  - ③ 技能的側面
- 人権学習の手法
  - ・ 普遍的な視点からのアプローチ
  - ・ 個別的な視点からのアプローチ

- ・ 自尊感情
- ・ 共感的に理解する力
- ・ 人間関係調整力

人権感覚

### 〈人権が尊重される授業づくりの視点〉

- ・ 自己存在感を持たせる支援の工夫
- ・ 共感的人間関係を育成する支援の工夫
- ・ 自己選択、自己決定の場を工夫して設定

### 〈受講者から〉

教育活動全体を通じて人権教育を推進していくための留意点について学ぶことができた。また、人権が尊重される授業づくりの視点についてはこれまでの授業を振り返り考えることができた。まだまだ十分でないところがあるので、子どもたちの実態をよく見据え、支援を工夫していきたい。

### 「人権課題についての学習指導案の作成」

#### 各教科等と人権教育との関連を図った学習内容とは

- ① 各教科等(各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・外国語活動)の学習において、直接人権課題を扱う学習  
(例) 社会科の単元において、男女共同参画の課題を取り上げ、学習する。
- ② 各教科等の学習において、人権(基本的人権や個人の尊厳)一般についての学習や、人権感覚の育成を図る(自尊感情や共感的に理解する力など)視点からの学習  
(例) 教科等の学習において、グループ学習など他者の意見を尊重し、認め合う活動を行う。



各教科の目標と人権に関する意識・態度、実践力を養う人権教育の活動が互いに結びつく、学習指導案づくりを行った。受講生同士で話し合いながら、各々の指導案を作成し、最後には要旨を発表し合った。

### ポイント

- ・ 各教科等の目標と人権教育の目標が同時に達成できる学習活動を計画すること。
- ・ 普段から、子どもたちのよさや可能性が発揮できる活動を取り入れること。

### 〈受講者から〉

- ・ 今回のように人権を意識した教科における指導案作成という取り組みは初めて行いました。どの教科、どの単元であれば人権意識を育てることができるといった視点で教材を見ていくことで、これまでとは違った見方をすることができました。大切にしていかなければならない人権の意識を常にもって、今後の授業に取り組んでいきたいと思っております。

## ○目的 小学校の理科の授業における観察・実験の基礎的な技能・指導力の向上を図る。

初月小学校理科室において、新学習指導要領に対応した「楽しくて安全な理科学習の仕方」の講義と実習を行いました。高知市教育研究会の理科部会のみなさんや、初任者・2年経験者の若い先生方を中心に、希望で12名の参加があり、実際に実験などを行いながら、研修や情報交換を深めました。

### 「楽しくて安全な理科学習の仕方」

講師：高知市立高須小学校 坂本 卓也 教諭

理科室での事故多いのは・・・

- ★ ガラス棒が長すぎることによるピーカーの転倒
- ★ アルコールランプの誤操作
- ★ 蒸発乾固の実験中の薬品の飛散  
(溶液の入れすぎ・水がなくなる・危険な蒸発乾固を行うなど)
- ★ やけど (物は火から下ろしてもすぐには冷めない) など



アルコールランプの安全な取り扱いを実演する坂本先生



特に薬品の取り扱いには要注意!!

- 指導書などで薬品の使用の仕方を確認している
- 薬品は全て薬品庫に入れてある
- 薬品管理簿に記入している
- 薬品を使用するときにラベルが汚れないように気をつけている
- 薬品を扱うときには、ゴム手袋や安全めがねを使用している

ゴム手袋と安全めがね



『安全度』をチェックしてみましょう。



### 「実習」 ~4年 「ものの温まり方」~

#### 金属板の温まり方実験



- ① 金属板に「サーモテープ」を貼る。
- ② 熱すると、温まったところから、テープの色が変わっていく。

新しく使用されることになったカセットコンロ

温度の変化が目で見えてすぐわかるから、子どもにも分かりやすいね。

テープに引火しやすいので気をつけないと危険だね。



実習に取り組む受講者のみなさん



試験管の中に挿してあるのが「サーモスティック」。「サーモテープ」同様に、温度によってスティックの色が変化していく。

温度によって色が変わる教材が、今はこんなにいろいろあるんだね。

#### 試験管の中の水の温まり方実験



#### ビーカーの中の水の温まり方実験

ビーカーの中の水の温度によって色が変わる「サーモインク」。通常の温度では青色のインク。温まってくると、紫からピンクに色が変化していく。

温まった水の変化はわかりやすいけれど、対流の様子は、これまでのみそで行う実験とどっちが分かりやすいかな？

#### <受講者の感想>

- 1つの実験だけでもいろいろなパターンの実験方法があることを知ることができた。一度自分で実験することによって、大切なポイントを再確認することができる。今まで以上に、事前の実験を大切に、特に、安全面には配慮していきたいと思った。
- 実際にやってみると新しい発見がある。実技講習は大切だと思った。基礎・基本は、繰り返し学ぶことが大切だ。本校の3・4年生担任の先生方にも伝えたいことが学べた。

学習指導要領改訂・新教科書への移行に伴って、理科の実験教材も新しいものがたくさん入ってきています。理科専科の先生だけではなく、担任の先生方も、ぜひ理科の実験講座に参加して研修を深め、「安全」で「楽しい」理科授業を目指してください。